

総務社会課 南会津夢教育2013 ~「学校」「家庭」「地域」の連携から生まれくる豊かな学習環境~



2013社会教育事業推進の取組は、以下のとおりです。

- ① 町村のニーズに添う社会教育研修を実施しました。
- ② 「読書活動推進研修講座」を実施し、年3回延べ82名の参加を得て、情報交換を行いました。
- ③ 「十七字のふれあい」では1468組の応募があり、一つ一つの作品から温かな心の交流が感じとれました。
- ④ 郡P連と連携し『ふれあい調づくり活動』を推進し、郡P大会朝日大会で、優秀作品の表彰を行いました。その他、「サポートチーム養成研修「放課後子ども教室」「他部局との連携を図った『南会津を知る。学ぶ。創る』事業」等々があります。

これからも、横のつながりを大切にしながら、学校・家庭・地域が一体となった教育力の向上を図っていききたいと思えます。

社会教育 「社会教育って？社会教育主事って?!」～ 資格を取って新たな教育観を！～

「社会教育」については、社会教育法の第二条に「学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動」と謳われています。



【研修会の一場面】

また、「社会教育主事」は、同法の第九条の三に「社会教育を行う者に専門的技術的な助言と指導を与える」と規定され、「社会教育職員研修会、公民館、家庭教育、放課後子ども教室、読書活動、PTA活動、文化財」等に関わる指導や支援、研修の企画等を行います。

では、「社会教育主事」の資格を得るには、どうしたらよいのでしょうか。まず、6月後半から「磐梯青少年交流の家」と「東北大学」で約1ヶ月半の研修を受講することが必要です。旅費や宿泊代は自己負担ですが、社会教育理論やワークショップ技法、演習、グループでの社会教育調査等、学校教育の現場では学べない講習を学生

に戻ったような新鮮な気分で受けることができます。3県（福島、山形、宮城）の受講生と充実した日々の交流も図られ、毎日が、正に「目から鱗が落ちる」状態です。

この講習を受ければ、教育を学校現場の中でしか捉えていなかった自分に気付かされたり、地域、家庭、学校など、様々な人や機関とのネットワークがいかに大切なのかを実感できたりすると思います。学校現場や家族から離れた生活は、不安でもありますが、今後の教員生活にとって貴重な体験になることは必定です。

このように、社会における課題の解決に向けて、地域の人々との対話を重ね、共に考え、共に行動する。そうした取組を通して地域を支えていく教育に専門性をもって関わられるよう、社会教育主事の資格を取ってみませんか。学校現場における地域の方とコミュニケーションを取りながら、地域社会全体の成長を念頭に置いた仕事も今まで以上に充実すると思います。本当に役立つ資格です。

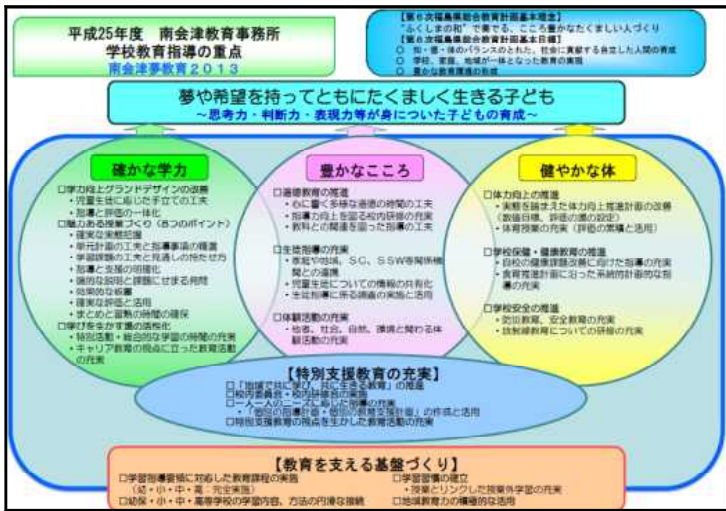
「社会教育主事や資格所得についてもっと知りたい。」と興味を持たれた方は、校長先生に相談してみてください。

事務指導より

- 1 実施期日等  
平成25年9月19日から12月25日  
域内全小中学校（22校）
- 2 実施結果  
指導事項は減少している（H24：38件→H25：21件）が、昨年同様、出勤簿や給与関係等で誤りが散見された。  
主な指導事項は下記のとおり。  
【服務関係】  
出勤簿の年休計算誤り：1校、休暇届の決裁漏れ：1校  
出勤簿の記入漏れ、押印漏れ：2校

- 【給与関係】  
扶養手当に係る「特定期間の子」の認定漏れ：2件、  
教育業務連絡指導手当支給日数誤り：4件、  
特殊勤務実績簿の未整備：1件、  
週休日の振替超勤（25/100）の支給漏れ：1件
- 【旅費関係】  
二重払（別途支給あり）：1件、用務地誤り：1件、  
交通手段誤り：1件、請求漏れ：3件、  
加算日当漏れ：3件
- <大変お世話になりました。  
次年度もよろしく願います。>

学校教育課 南会津夢教育2013 ～夢や希望を持ってともにたくましく生きる子ども～



南会津夢教育2013は『特別支援教育の充実』と『教育を支える基盤づくり』を土台に、『確かな学力』『豊かなこころ』『健やかな体』の3本の柱で取り組んできました。

『確かな学力』では、「魅力あふれる授業づくり」のためのリーフレットを作成し、授業改善を具体的に指導助言してきました。各学校ではそれを効果的に活用し、授業に対する意識が高まっています。『豊かなこころ』では、道徳教育の充実と生徒指導の充実を通して、きめ細かな対応がなされており、問題行動や事故が極めて少ない状況が続いています。『健やかな体』では、体育部や養護教諭を中心に全職員の共通理解のもと、児童生徒の実態を踏まえ、家庭の協力を得ながら、体力向上や食育の推進等に取り組んでいます。

次に3本の柱の具体的な実践例を紹介します。

確かな学力

連携して、今の学びを将来へ 南会津町立檜沢中学校

本校では、生徒の実態から「自ら考え、自信をもって表現できる力の育成」に、全教育活動の中で力を入れて取り組んでいます。また、田島地域連携型中高一貫教育、南会津学習サポート事業に取り組み、連携して今の学びを将来の心豊かに生きる力につなげることを目標に取り組んでいます。ここではその概要をご紹介します。

1 田島地域連携型中高一貫教育 (H17より)

田島高校と中学校3校が連携して、高1ギャップの解消と、生きる力に結びつく学力の保障を目指し、以下のような事業に取り組んでいます。

- ①中高相互の教員交流連携授業
- ②朝読書の共通実践
- ③環境科学コース指導による花植え
- ④合同芸術鑑賞
- ⑤高校進学ガイダンス 等

これらにより、高校生活への希望を高め、新たな学校生活への理解を深めることにつながっています。

2 南会津学習サポート事業 (H18より)

域内の特徴である小規模校の課題を克服すべく、域内6中学校が協力して取り組んできた事業です。主な活動は、



- ①学習内容の定着を目的としたライブ授業
  - ②学習習慣の確立を目指した添削教材の活用 です。
- その他に、参加6校が一堂に会しての全体勉強会、テレビ会議システム活用による2校接続の交流授業、域内全中学校参加の学習コンテスト等、改善を加えながら取り組んでいます。

このような生徒同士の交流や学び合いを通し、学習意欲の向上や学習内容の定着において、成果を上げています。

健やかな体

運動身体づくりプログラム 南会津町立南郷小学校

本校は、健やかな児童の育成に向け、体育部が中心となり体力の向上に取り組んできました。本校の児童の課題は、体力の低下と運動をする子としない子の二極化です。これらの克服をめざして「運動身体づくりプログラムの充実」と「運動の日常化」を図ってきました。

まず、「運動身体づくりプログラムの充実」では、体力テストの結果をもとに、補助運動を精選しました。その運動を体育部が例示することにより、各学年の運動身体づくりプログラムの内容を充実させました。

次に「運動の日常化」のために、「運動環境(時間・仲間・空間)の充実」に取り組みました。まず、「運動する時間」を充実させるために、全校運動の時間を設定し、マラソンやなわとびに取り組ませました。「運動する仲間」づくりでは、週に1度、クラスや縦割り班で運動する時間を設定しました。



学年の壁を越え、笑顔で運動する姿が多く見られました。「運動する空間」については、「サッカーゴール、一輪車・竹馬乗り場」を新設しました。新しくボールを補充する際も、少しでもボールへの抵抗を取り除くために、固すぎない、大きすぎない物を選ぶなど工夫した結果、進んで運動する子どもが増えました。

今後は、校内研修の機会を多くするなどして、本取組の充実を図るとともに運動に親しむための新たな取組を試行し、さらなる体力の向上を目指していきたいと思えます。